



自動運転バスの実証運行

～次世代モビリティの技術を活用した地域公共交通の維持を目指して～

本事業は、市と地域団体が、最新の自動運転システムや安全運行のノウハウを持つパートナー企業とともに、城崎温泉街特有の運行環境において、互いの強みを持ち寄り、住民ニーズの把握や運行データの収集・蓄積を行い、地域課題の解決を目指す「共創」のチャレンジです。

1 事業内容

将来的なグリーンスローモビリティや自動運転バスの運行が構想されている

城崎温泉街において、地域と連携し将来のレベル^{フォー}4を見据えた自動運転バスにオペレーターが乗車する形（レベル^{ツー}2）で運行する。

2 実施時期など

(1) 運行期間

2026年11月～12月（1カ月間程度）

※平日の20日間程度運行予定

※10月中旬以降からテスト走行を実施

(2) 出発式（予定）

11月6日（金） ※詳細は決まり次第お知らせします。

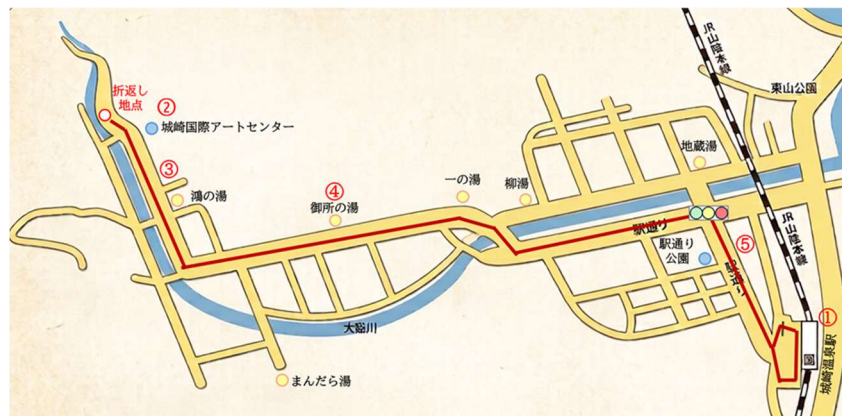
(3) 運賃

無料

※誰でも乗車可能だが、乗車定員（9人）に達した際は乗車不可

3 運行ルート

※速度20km以下で走行



※乗降場所(①JR 城崎温泉駅前出発 → ②城崎国際アートセンター前 → ③城崎中学校前 → ④御所の湯前 → ⑤地蔵湯公園前 → ①JR 城崎温泉駅前到着)

4 運行時間

JR 城崎温泉駅発 ①11:10 ②12:10 ③13:10 の1日3便

5 実施体制

(1) 事業主体

豊岡市

(2) プロジェクト全体の企画調整など

兼松株式会社（公募型プロポーザルにより決定）に委託

(3) 運行業務（オペレーター）

全但バス株式会社

(4) 自動運転バス（車両）

A2Z（エートゥーゼット）社（自動運転技術の実績を有する韓国の企業）の車両で、国内初上陸・初走行の11人乗り車両「ROii（ロイ）」を使用

※オペレーター（運転員）と補助員が常に乗車するため乗車定員は最大9人

6 事業費

9,900 千円

※自動運転バスの実証は多額の予算が必要な事例が多い。本事業は、自動運転バスを実証したい市と日本での技術・サービスの実用化に向けて取組みを進めたい企業が互いに負担しあって実証する、いわゆる官民共創の枠組みで実施。

※観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業（補助率2/3）」採択事業

7 検証内容など

- (1) 「そぞろ歩き」など、城崎温泉特有の交通環境における走行データの取得や自動運転の安全性を確認するとともに、レベル4導入に向けた課題を抽出
- (2) 地域住民・事業者・来訪者へのアンケートを実施。レベル4導入に向けたインフラ整備の要件や、市民ニーズに即したサービス内容を検討
- (3) 地域住民・事業者・来訪者が乗車する機会を提供し、自動運転バスの利便性や安全性への理解を促進し、地域全体での受容性向上

8 実証車両の概要

実証車両 ROii | 外観・デザイン

iF Design Award 2024 受賞。城崎の街並みに調和する、人にやさしいデザイン。



■ デザインの特徴

流線形ホイールボックス型

iF Design Award 2024 受賞

双方向スライドドア

Body.png

狭い道でも乗降しやすい

車椅子スロープ標準装備

誰もが乗れるバリアフリー設計

前後面の外部ディスプレイ

走行情報をリアルタイム共有

Full LED ランプ/18インチホイール

直感的でミニマルな外観

(写真：提供 兼松)

〔問合せ〕 市長公室経営企画課 TEL0796-21-9022（直通）
担当 水谷（内線 2085）